

石川県原子力環境安全管理協議会 議事概要

1. 日 時：平成21年10月19日（月） 午後1時30分～午後3時7分
2. 場 所：石川県庁11階1109会議室
3. 出席者：21名（名称略）、事務局、説明者他
4. 議事概要

（1）北陸電力より、前回協議会以降に発生した志賀原子力発電所で発生した連絡対象事象について、個々の事象の発生原因、再発防止対策及び2号機定期検査中にヒューマンエラーによる事象が連続して発生していることに対する再発防止対策について、説明があった。

（委員）この3ヶ月あまりで、数多くの初歩的なミスを聞くと、非常に心配になってくる。説明を頂いた再発防止策について、きちんと原点に立ち返って、県民の皆さんに伝えられる北陸電力として努めて頂きたい。

（委員）協力会社に対してもマイプラント意識を徹底させるということがポイントになると考える。

（電力）安全に直接係わらなかったとはいえ、ヒューマンエラーが連続しておきることは、私どもも非常に大きな問題だと思っている。請負者1人1人、末端まで、原子力で働くという意識をしっかりと認識して、慎重に、そして万全の注意をもって作業を行うということを、これからしっかりと徹底して、二度と同じことが起きないように進めてまいる所存。

（委員）定検中にしかできない検査はあるが、それ以外の検査も定検中に行っているので、なるべく1年間平準化して行うことも今後の対策として考えて頂きたい。

（電力）原子力安全・保安院と、電気事業者全体で、検討を始めたところであり、方向性についてまとまった時点で、またご説明させていただきたい。

（委員）現場の作業の前後で必ずチェックをする体制を築き上げて頂きたい。

（電力）基本的には行っているが、結果が出ていないので、委員のご指摘を踏まえて徹底してまいりたい。

（2）北陸電力より、志賀原子力発電所の平成21年4月から6月の平成21年度第1四半期の運転状況及び漏えい燃料に係る調査結果について、説明があった。

（委員）現在、原子炉の燃料集合体の製造技術はものすごく進んでいるが、いくら信頼性があったとしても異物が入れば元も子もないわけで、こういう異物が何なのか、原因をとことんはつきりさせて頂きたい。

(電力)現在のところ、燃料棒の漏えい実績からの確率は十数万本に1本位。非常に信頼性の高い燃料集合体を使っている。異物は形状からみてワイヤブラシなどと呼ばれるものではないかと想定している。引き続き、異物による燃料漏えいという事が無いように努めてまいりたい。

(委員)他電力においても似たような事象は発生している。何らかの共通的な要因があるかと思うので、よく調べて原因をつかんだ上で、再発防止対策を立てて頂くようお願いしたい。

(3)北陸電力より、志賀原子力発電所タービン保管庫の設置について説明があった。

(4)事務局より、志賀原子力発電所周辺環境放射線監視結果報告書(案)(平成20年度年報)、志賀原子力発電所周辺環境放射線監視結果報告書(案)(平成21年度第1報)、志賀原子力発電所温排水影響調査結果報告書(案)(平成20年度第4報)(冬季)及び志賀原子力発電所温排水影響調査結果報告書(案)(平成20年度年報)について、説明があった。

(委員)土壌中の放射能で、セシウム及びストロンチウムの濃度の減少が、半減期より短いことについて、これは発電所の影響では全くないことは分かるが、その理由は何か。

(事務局)発電所からの新たな影響を見るという観点から、発電所内の定点において採取したためである。土壌中のセシウム及びストロンチウムは1960年代ごろまでに世界各地で行われた大気中の核実験の影響ではないかと考えている。

(5)原子力安全・保安院志賀原子力保安検査官事務所から、平成21年度第1四半期保安検査結果等について、説明があった。

(委員)保安検査結果について安全文化を醸成するための活動状況について、実施計画に基づいて活動が開始されていることを確認した、その遵守状況は良好である、と評価しているが、連続してトラブルが起こることについてどの様に考えているのか。

(原子力安全・保安院)今回の報告はトラブルが発生する前の状況であり、今後、保安調査等でトラブル等についても確認していきたいと考えている。

(6)事務局より、前回の議事概要について、ホームページに掲載している旨、報告があった。

— 以 上 —